

プロジェクトの概要

宮古市民文化会館は、昭和51年(1976年)11月3日に開館し、2026年に竣工50周年を迎える、宮古市の芸術文化振興の拠点施設です。

2011年の東日本大震災では1階部分を中心に甚大な被害を受けましたが、日本全国からの応援により復旧し、開館以来、「芸術文化を鑑賞する場」、「市民が創作・表現する場」として、多くの人々に夢と感動をお届けしてきました。

市民に愛され、文化活動を支えてきた市民文化会館が、これからも芸術文化振興の拠点としての役割を果たし続けられるよう、より安全で快適な施設環境の整備と、多様な芸術文化活動の支援を進めていきます。

募集概要

●対象事業
芸術文化活動の支援と拠点整備プロジェクト
●事業費
6,200万円
●寄附目標額
3,000万円

市ホームページ
宮古市の
企業版ふるさと納税

事業の具体的な内容

♬市民文化会館の改修工事

大ホールの舞台幕地にカビが発生していることから、幕地を一式更新します。また、経年劣化が見られる緞帳の裏地やチチ紐、下パイプ袋を交換し、安全を確保します。このほか、老朽化の進む文化会館の改修・修繕に対応し、これからも安全で良好な環境維持に努めます。

♬芸術文化団体への支援

宮古市民劇や市民文化祭、みやこ郷土芸能祭など、発表の機会を提供することにより、その活動を支援し、人材育成につなげます。

♬子ども育成の団体鑑賞

小学校から高校生までの全児童生徒に、音楽や演劇、伝統芸能など優れた芸術の鑑賞機会を提供します。


文化会館大ホール
ステージと客席


舞台の様子〔宮古市民劇〕

企業の皆様へのメッセージ

令和8年11月で竣工から50年を迎える宮古市民文化会館は、芸術文化を愛する宮古市民にとって、なくてはならない、とても大切な場所です。また、市民劇や市民文化祭をはじめ、市民による様ざまな芸術活動の拠点であり、たくさんの人が集まる、思い出の場でもあります。

これからも、ずっと、もっと、ここ宮古市民文化会館で、次世代を担う宮古の子どもたちが、豊かな心・感性・想像力を育むことができるよう、市民のみなさんが、充実した様々な文化活動に触れられるよう、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

宮古市
Miyako City